

令和7年度大仙市大学生等フィールドワークサポート事業実施要項

令和7年4月

大仙市経済産業部

商工業・若者チャレンジ振興課

1 目的

大学生等を市内に誘導し、フィールドワークなどの活動を通じて、若者の活躍による地域の賑わい創出を図るとともに、若者の柔軟なアイデアを取り入れた地域の活性化や課題解決の取り組みの展開を図ることを目的とします。

2 対象者

秋田県内の大学、短期大学等に所属する学生

3 対象となる活動

大仙市内で行う次に掲げる活動

- ・ 講義やゼミ、研究等に伴うフィールドワーク、調査活動等
- ・ 地域資源の活用を図るための調査活動
- ・ 地域課題の解決を図るための調査活動
- ・ その他市が認めた活動

4 サポート内容

対象者が対象となる活動を行うにあたり、必要とする情報の提供や移動に係る支援など次に掲げるサポートを行います。

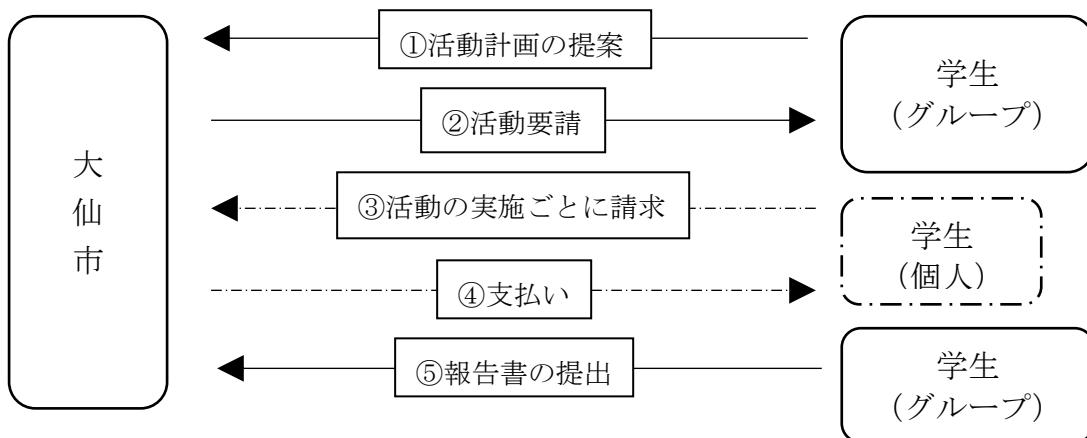
- ・ 活動場所に関する情報提供
- ・ 移動手段に関する情報提供
- ・ 宿泊施設に関する情報提供
- ・ 交通費の支援 ※1・2
- ・ 宿泊費の支援 ※2
- ・ その他必要なサポート

※1 対象者が所属する大学等のキャンパスから市内目的地までの移動に係る交通費相当額とし、原則として公共交通機関（電車・バス）の利用料金相当額とします。

※2 対象者1人あたりの支援額は2万円を上限とします。

5 スキーム

- | | |
|----------------------|--------------|
| ① 活動計画（様式 1）の提案 | 【学生（グループ）→市】 |
| ② 提案内容の確認、活動要請（様式 2） | 【市→学生（グループ）】 |
| ③ 活動の実施ごとに請求（様式 3） | 【学生（個人）→市】 |
| ④ 支払い | 【市→学生（個人）】 |
| ⑤ 活動の終了、報告書（様式 4）の提出 | 【学生（グループ）→市】 |



6 留意事項

(1) 電車を利用する場合

普通乗車券の購入代金相当額を支援しますので、駅の券売機等で領収証を取得してください。領収証には氏名を記載してください。

(2) バスを利用する場合

利用したバスの路線名・乗降停留所名・運賃を報告してください。

(3) 公共交通機関での移動が難しい場所で活動を行う場合

目的地までのバスが通っていないなど公共交通機関での移動が難しい場所で活動を行う場合は、レンタカー又は私用車の利用に対して支援を行います。

レンタカーを利用する場合は、領収証等レンタカーを利用した際の料金が確認できる書類を取得してください。

レンタカー又は私用車の利用に共通して、燃料費については、1回の活動あたり移動距離1キロメートルにつき37円を支援します（1キロメートル未満の端数は切り捨て）。移動距離が確認できる経路図等を提出してください。

グループで利用した場合の1人あたりの支援額は、レンタカーに係る利用料金及び燃料費の総額を利用人数で割り返した額とします。

(4) 教授等が各対象者の交通費及び宿泊費を一括して負担する場合

交通費及び宿泊費の支援に係る支払方法については、市から各対象者へ個別に振り込むことを原則としますが、教授等が各対象者の交通費及び宿泊費を一括して負担する場合で、各対象者から同意を得ている場合に限り、市から当該教授等へまとめて振り込むことができるものとします。この場合において、支援額の上限は、活動全体を通じて対象者1人あたり2万円とし、対象者の人数に応じた額とします。

様式 1

年 月 日

大仙市長 様

(団体等名) _____

提案者(代表者) 氏名 _____

大仙市大学生等フィールドワークサポート事業提案書

1 活動テーマ

2 活動する者 別紙提案者名簿のとおり

3 活動の目的

4 場所

5 期間

6 内容

7 スケジュール

活動月	月	月	月	月	月	月	月	月
内容・回数								

8 利用予定の移動手段等

手段	路線名	利用区間(駅名、停留所名等)又は距離	利用料金	回数	対象者の人数
電車	線	駅～駅	片道・往復 円	回	人
バス	線	～	片道・往復 円	回	人
レンタカー		km	円	回	人
私用車		km		回	人
宿泊の有無	1人あたりの料金	宿泊数	対象者の人数		
あり・なし	円	泊	人		

(別紙)

提案者名簿

代表者（学生または教授等）

大学等	大学	学部	学科	専攻等
学年または職名	年または教授等			
氏名				
住所				
電話番号				
メールアドレス				
備考				

※ 代表者以外のメンバーについて、以下に記入すること。

大学等	大学	学部	学科	専攻等
学年	年			
氏名				

大学等	大学	学部	学科	専攻等
学年	年			
氏名				

大学等	大学	学部	学科	専攻等
学年	年			
氏名				

大学等	大学	学部	学科	専攻等
学年	年			
氏名				

大学等	大学	学部	学科	専攻等
学年	年			
氏名				

様式 2

番 号
年 月 日

(団体等名)

(代表者) 氏名 様

大仙市長 老松 博行

(公印省略)

大仙市大学生等フィールドワークサポート事業活動要請書

年 月 日付けで提案のあった大学生等フィールドワークサポート事業について、
次のとおり活動を要請します。

1 活動テーマ

2 活動する者

3 活動の目的

4 場所

5 期間

6 内容

7 留意事項

- (1) 活動の際に利用した公共交通機関等の利用料金相当額等を支援します。なお、宿泊を伴う場合は、1人あたり1泊につき3千円を限度に支援します。
- (2) 上記の請求を行う場合は、対象者ごとに、様式3の請求書を作成し、領収証の写し等必要な書類を添えて請求してください。なお、教授等が一括して公共交通機関等の利用料金等を負担する場合で、各対象者から同意を得ている場合に限り、当該教授等が請求を行うことができます。
- (3) 請求は、活動に伴う公共交通機関等の利用ごとに行うことができます。
- (4) 対象者1人あたりの支援額の上限は、活動全体を通じて2万円です。なお、教授等が一括して公共交通機関等の利用料金等を負担する場合の支援額の上限は、活動全体を通じて対象者1人あたり2万円とし、対象者の人数に応じた額とします。
- (5) 全ての活動が終了したときは、様式4の報告書を提出してください。

請　求　書

年　　月　　日

大仙市長 様

住所 _____

氏名 _____

年　　月　　日付け大仙経商一　　で活動の要請を受けた大仙市大学生等フィールドワークサポート事業について、下記のとおり請求します。

記

請求金額	金　　,　　円			
振込先	金融機関名	銀行	支店等名	支店
	口座種別	普通・当座	口座番号	
	(フリガナ)			
	口座名義人			

(請求書添付書類)

1 利用した公共交通機関等

手段	路線名	利用区間（駅名、停留所名等）又は距離	利用料金	回数	対象者の人数	合計
電車	線	駅～駅	片道・往復 円	回	人	円
バス	線	～	片道・往復 円	回	人	円
レンタカー		km	円		人	
私用車		km			人	
宿泊の有無		1人あたりの料金	宿泊数	対象者の人数	合計	
あり	なし	円	泊	人	円	

2 領収証等貼付欄

様式 4

年 月 日

大仙市長 様

(団体等名) _____

報告者(代表者) 氏名 _____

大仙市大学生等フィールドワークサポート事業活動報告書

1 活動テーマ

2 活動した者 別紙報告者名簿のとおり

3 活動の目的

4 場所

5 期間

6 内容

7 スケジュール

活動月	月	月	月	月	月	月	月	月
内容・ 回数								

8 活動によって見えた大仙市の魅力や課題とそれらの活用や解決について考えられる取り組み

9 その他添付資料等

(別紙)

報告者名簿

代表者（学生または教授等）

大学等	大学	学部	学科	専攻等
学年または職名	年または教授等			
氏名				
住所				
電話番号				
メールアドレス				
備考				

※ 代表者以外のメンバーについて、以下に記入すること。

大学等	大学	学部	学科	専攻等
学年	年			
氏名				

大学等	大学	学部	学科	専攻等
学年	年			
氏名				

大学等	大学	学部	学科	専攻等
学年	年			
氏名				

大学等	大学	学部	学科	専攻等
学年	年			
氏名				

大学等	大学	学部	学科	専攻等
学年	年			
氏名				